

岡老連第 119 号

平成31年1月18日

公益財団法人

兵庫県老人クラブ連合会

会長 中村 美津子 様

公益財団法人岡山県老人クラブ連合会

会長 吉田 建太郎



謹啓 新春の候 貴職にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成30年7月の西日本豪雨災害に際しましては、早速、心温まるお見舞いを頂戴し、また傘下の老人クラブ会員の皆様の心のこもった手作りの「元気うちわ」をお寄せいただき誠にありがとうございました。加えて、市町老連の皆様から多くの救援拠金もお寄せいただきました。数々のご支援、心より厚く御礼申し上げます。

本県内では、7月6日から7日にかけて、河川の決壊や土砂崩れなどにより甚大な被害が発生しました。県下で61名(災害関連死を除く)の尊い命が失われ、住宅被害では全半壊・一部損壊が約9,400棟、床上・床下浸水は約9,000棟と、岡山では戦後最大級の被害となりました。特に町の面積の3割が水没した倉敷市真備町では51名が亡くなられ、その約9割は65歳以上の高齢者が占める事態となりました。

この災害から6か月余りが過ぎ、被災者の多くは仮設住宅や行政が借り上げた民間賃貸住宅等に移り不自由な生活を余儀なくされている中で、被災地では、一日も早く従前の平穏な生活と豊かな地域を取り戻すために、復旧、復興への取り組みが懸命に続けられているところです。

お寄せいただいた「元気うちわ」につきましては、直ちに避難所を設置していた市町老連を通じて被災者にお届けいたしました。

ご支援に対する御礼が遅くなりましたこと、なにとぞお許しくくださいますようお願い申し上げます。甚だ略儀ではございますが書中をもって御礼のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

敬具